

学校歯科医と連携した歯科保健活動の取組

熊谷市立大麻生中学校

1 はじめに

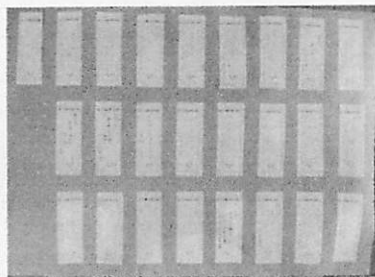
本校では、定期健康診断の結果から、昨年度と比べ、むし歯（C）と判定された生徒、要観察歯（CO）と判定された生徒、歯周疾患要観察歯（GO）と判定された生徒は減少している。しかし、むし歯の処置歯率は低下している。

このことから、むし歯を保持している生徒が通院せずに放置している傾向にあると考える。

2 本校の取り組み

本校では、歯と口の健康週間で、次のことに取り組んだ。

- (1) 学校歯科医による歯科講話の実施
- (2) 生徒保健委員会活動の一環で、一週間各クラスの保健委員が給食後の歯みがきチェックを行った。意識を高めるため、クラス対抗で実施率を競った。
- (3) 歯・口の健康啓発標語を全員が作成し、各クラスの保健委員が標語のクラス展示を行った。また、各クラス一点を朝会で表彰し、優秀作品として各階の流しや生徒用玄関に掲示した。



- (4) むし歯の治療状況がわかる掲示物を作成し、むし歯のある生徒が早期に受診するよう意識を高めた。



- (5) 歯・口の健康に関するポスターの作成の呼びかけを各クラスで行った。
- (6) 歯垢の染め出しと歯肉の観察を行い、歯垢の染め出しを行った後、歯肉炎・歯周病についての指導をクラスごとに行った。

3 歯科講話の内容（抜粋）

噛むことの大切さについて学校歯科医の樋口先生にお話をいただいた。

- (1) むし歯予防になる。
- (2) 肥満の予防になる。
- (3) 体の免疫力を高める。
- (4) 頭がよくなる。
- (5) 消化吸収がよくなる。
- (6) 顔の筋肉のバランスがよくなる。
- (7) あごの発育を助ける。
- (8) 運動能力があがる。



（生徒の感想）

- 「早寝・早起き・あくびなし 元気のパワーは朝ごはん」という標語はすごいと思った。日頃から体の健康と同じように歯の健康にも気をつけていきたい。
- かみごたえのある食べ物を食べると、あごが成長し、歯並びもよくなっていくことがわかった。おやつは豆類やおせんべいなど固めの物にしようと思った。

4 おわりに

生徒の「歯は一生使う物だから大切にしていきたい。」という意欲が高まってきたと感じた。歯の大切さを自覚させることで、「朝ごはんをしっかり食べる。」ことの重要性を認識させ、「熊谷の子どもたちは、これができます！4つの実践」の着実な実践に取り組んでいく。